

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：神奈川県  
農業委員会名：小田原市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年3月31日現在)

1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	1,646	農業就業者数	1,536	認定農業者	59
自給的農家数	727	女性	627	基本構想水準到達者	10
販売農家数	919	40代以下	168	認定新規就農者	13
主業農家数	134	※ 農林業センサス(2020年)に基づいて記入。			
準主業農家数	202				
副業的農家数	641				
※ 農林業センサス(2020年)に基づいて記入。		※農業委員会調べ			

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	486	1,290				1,780
経営耕地面積	261	611	151	460		871
遊休農地面積	18	25	16	9		43
農地台帳面積	548	1,868				2,416

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 経営耕地面積は、農林業センサス(2020年)に基づいて記入  
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会 任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会 任期満了年月日 R 4 年 9 月 24 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	19	19			
認定農業者	—	7			
認定農業者に準ずる者	—	6			
女性	—	1			
40代以下	—	1			
中立委員	—	1			

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	14	14	13

※現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

## Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1,780ha	181.05ha	10.00%
課 題	優良農地の集積 適正な賃借料の設定		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 211.40ha (うち新規集積面積 6.79ha )
	目標設定の考え方:過去4年間(H29～R2)の新規集積面積平均値
活動計画	①県西営農支援センター協議会で、情報提供していく。 ②8～9月に農地有効利用希望者への登録を呼びかけ、12月以降にあっせん調整する。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数	2年度新規参入者数
	6経営体	13経営体	11経営体
	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積	2年度新規参入者が取得した農地面積
	1.5ha	4.4ha	2.5ha
課 題	農業所得の確保 経営の定着 地元における信用の形成		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	8経営体	参入目標面積	2.0ha
活動計画	随時相談を受け付ける。 県西営農支援センター協議会で相談を受け付ける。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## Ⅳ 遊休農地に関する措置

### 1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1,822.8ha	42.8ha	2.35%
課 題	遊休農地所有者への指導徹底が必要。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入  
 ※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

### 2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積		25.4ha
		目標設定の考え方:「小田原市農業委員会農地等利用の最適化の推進に関する指針」に定めた「遊休農地の解消目標」値(令和6年3月)を達成するよう令和3年度以降の目標数値を設定した。		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		60人		7月～8月
		調査結果取りまとめ時期		
	9月～11月			
	調査方法	調査区域を12区域に区切り、担当の農業委員・推進委員を定めて調査する。		
	農地の利用意向調査	実施時期		調査結果取りまとめ時期
12月～1月		2月～3月		
その他				

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入  
 ※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない  
 ※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

## Ⅴ 違反転用への適正な対応

### 1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1,780ha	0.9ha
課 題	違反転用の把握が困難である。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
 ※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

### 2 令和3年度の活動計画

活動計画	7月から8月にかけて実施予定の利用状況調査時に併せて違反転用箇所の調査を行い、早期発見に努める。
------	--

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入